

第2回「中国地方の防災に関する連絡会」

①中国地方のインフラ及びライフラインの強化

国土交通省 中国地方整備局

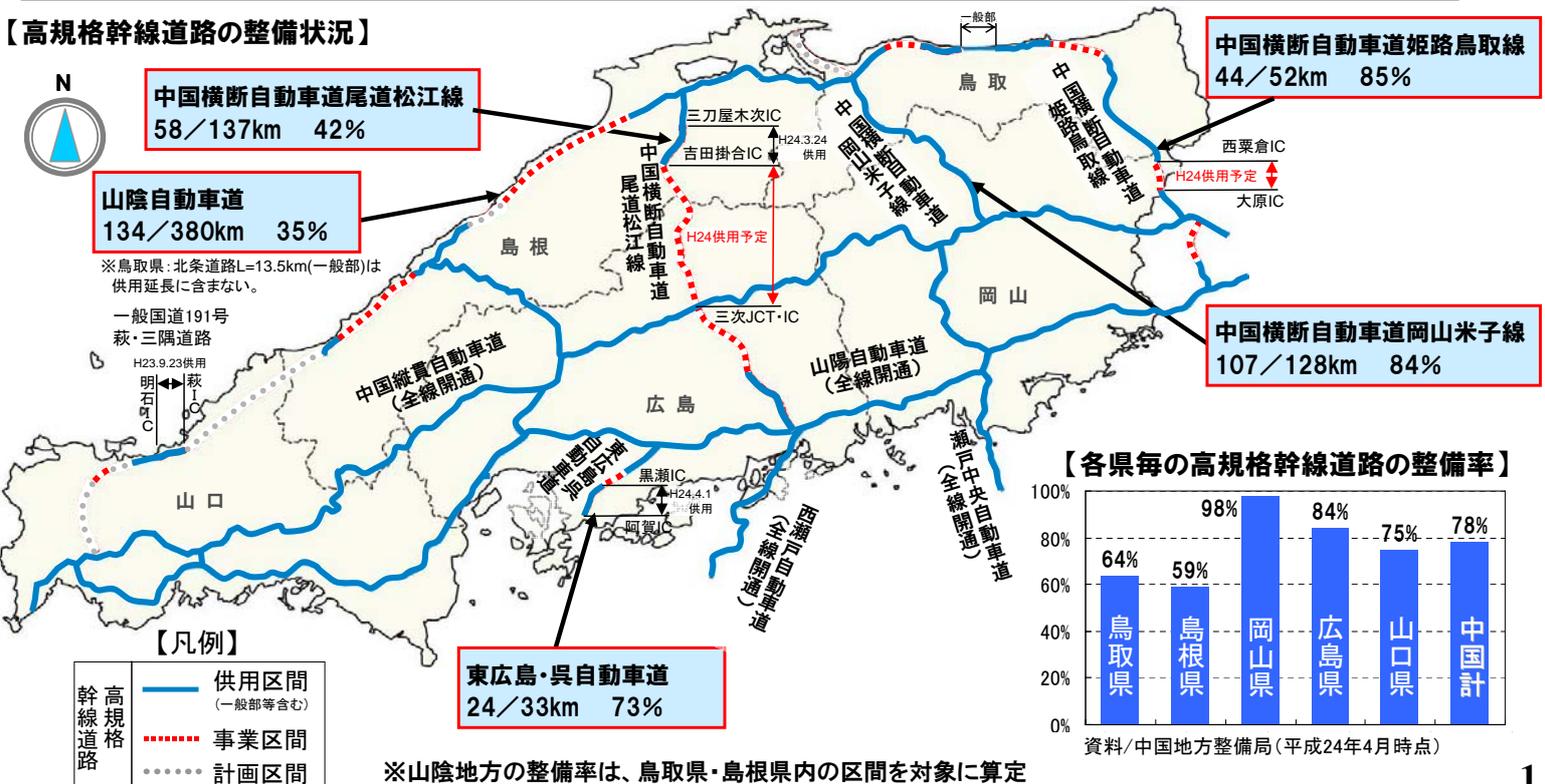
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

◇中国地方のインフラ及びライフラインの強化 –高規格幹線道路の整備状況

国土交通省
中国地方整備局

- 高規格幹線道路の中国地方の整備率は約8割であり、山陰道においては約4割弱の整備状況
- 平成23年度は、一般国道191号萩・三隅道路をはじめ、中国横断自動車道尾道松江線及び東広島・呉自動車道の一部が供用
- 平成24年度は、中国横断自動車道姫路鳥取線(約9km)及び尾道松江線(約49km)が供用予定

【高規格幹線道路の整備状況】



▶中国地方管内の「道の駅」のうち、8駅は防災機能の整備済。2駅は整備中。
※「道の駅」の登録93駅(H24.9.14)



市町村等地方自治体と連携し、地域防災計画での「道の駅」の位置付けを行うとともに、防災機能の役割の調整を行い、整備を図っている。



■ 防災拠点整備例 道の駅「掛合の里」(鳥根県)



整備の目的
○当駅は、連続雨量事前通行規制区間に挟まれ、また、周辺には地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域に指定されている集落が多数存在。
○災害時における道路利用者、地区住民を対象とした各種情報提供、あるいは避難場所として防災拠点施設整備を行う。

地方自治体と連携し、それぞれ必要な施設等を整備

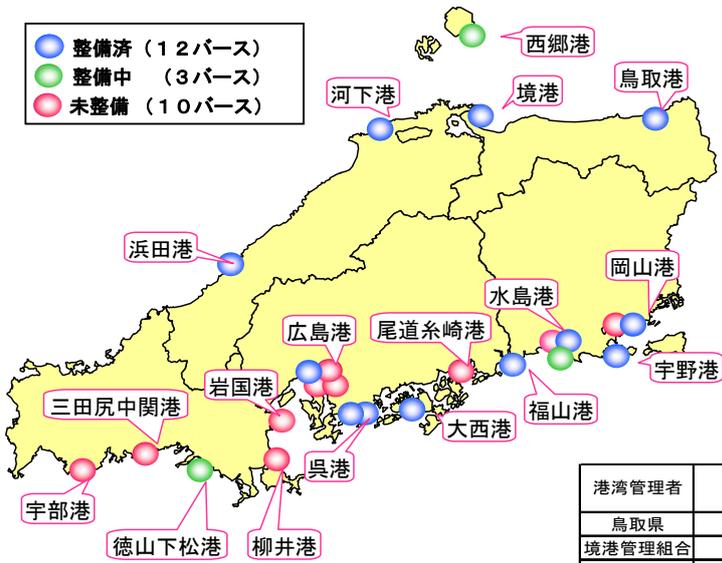
道路管理者

- ◆情報提供装置拡充
- ◆非常用水の確保
- ◆非常用電源の確保
- ◆通信手段の確保
- ◆非常トイレの整備

地元自治体

- ◇地域防災計画への位置付け
- ◇災害時優先電話（予定）
- ◇備蓄倉庫（予定）
- ◇非常用物品・物資（予定）

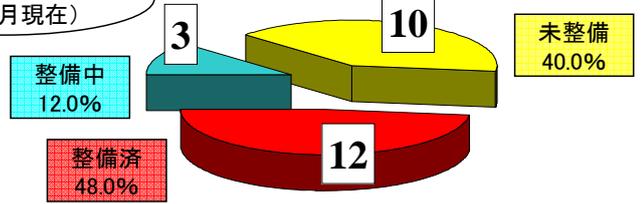
- 整備済 (12バース)
- 整備中 (3バース)
- 未整備 (10バース)



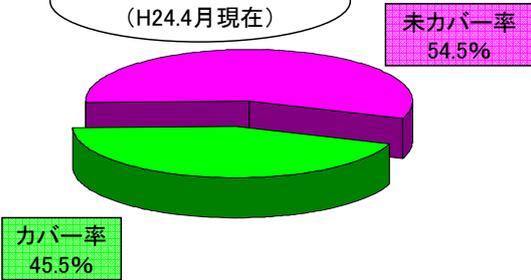
耐震強化岸壁整備の対象港湾とは

- 港湾背後地域が一定規模の人口を有している港湾
 - 緊急物資の輸送等を海上輸送に依存せざるを得ない背後地域を有する港湾
 - 離島航路が就航しており震災時にも離島航路の維持が必要な港湾 など
- 「港湾における大規模地震対策施設整備の基本方針(平成8年)」

耐震バース整備率
(H24.4月現在)



背後圏人口カバー率
(H24.4月現在)



港湾管理者	港湾名	港格	全体計画バース数	完了バース数	工事中		未着工バース数
					バース数	完了予定	
鳥取県	鳥取港	重要	1	1			
境港管理組合	境港	重要	1	1			
島根県	浜田港	重要	1	1			
	西郷港	重要	1		1	H24d	0
岡山県	河下港	地方	1				
	水島港	国際拠点	3	1	1	H24d	1
	宇野港	重要	1	1			
広島県	岡山港	重要	2	1			1
	広島港	国際拠点	4	1			3
	福山港	重要	1	1			
尾道系崎港	尾道系崎港	重要	1				1
	大西港	地方	1	1			
呉市	呉港	重要	2	2			
山口県	徳山下松港	国際拠点	1		1	H25d	0
	岩国港	重要	1				1
三田尻中関港	三田尻中関港	重要	1				1
	宇部港	重要	1				1
	柳井港	地方	1				1
中国地方 計			25	12	3		10

耐震対策や液状化対策を行っていた道路や河川堤防、港湾、空港、役場などの構造物は壊滅的被害を免れた

■耐震強化岸壁（仙台塩釜港 仙台港区）の事例

■ 通常岸壁(写真手前側)は海側に移動し、背後の荷役場に沈下などの被害が発生。これに対し、耐震強化岸壁(写真奥側)の被害は小さかった。



落橋・倒壊を防止

➢ 兵庫県南部地震と同程度の地震に対して、落橋等の甚大な被害を防止するため、橋長15m以上かつ2径間以上の橋梁について、**緊急(優先)的に落橋防止等を実施した。**

重大な損傷を防止

➢ 今後は、大規模地震に対して橋梁の被害を限定的な損傷にとどめ、円滑かつ迅速な応急活動を確保するため、**現行の基準(道路橋示方書)に対応する耐震補強を推進する。**

➢ 現在、中国地方整備局管内の直轄国道における耐震補強が必要な橋梁は約450橋あり、**地震防災対策強化・推進地域の対策を優先するとともに、県庁所在地間を結ぶルート**の対策を推進している。



落橋防止装置（設置前）



落橋防止装置（対策後）



橋脚巻立て（対策後）

<耐震対策を集中的に実施するネットワーク>



耐震対策や液状化対策を行っていた道路や河川堤防、港湾、空港、役場などの構造物は壊滅的被害を免れた

■橋脚（国道45号）耐震補強の事例

阪神淡路大震災での道路の被害を踏まえ、これまで東北管内490橋の耐震補強対策を実施してきた結果、落橋などの壊滅的な被害を防ぐことができ、早期復旧を実現

国道45号（観測震度：震度6弱）



【耐震補強済み(鋼板巻立補強)】
地震動により損傷なし

県道（観測震度：震度5弱）



【耐震補強なし】
橋脚が地震動により損傷

- 落橋防止装置が機能
- ・ 落橋防止装置(写真中央)の一部破壊
- ・ 桁を支えるゴム支承(黒い部分)は健全

落橋防止装置の一部破壊 ▶
(国道13号福島西道路吾妻高架橋)



落橋防止装置